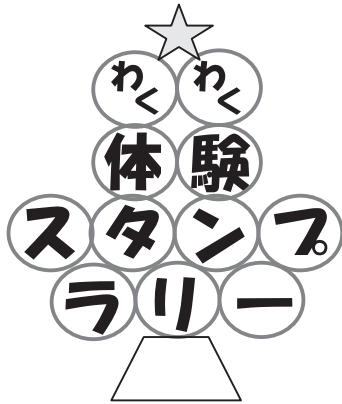
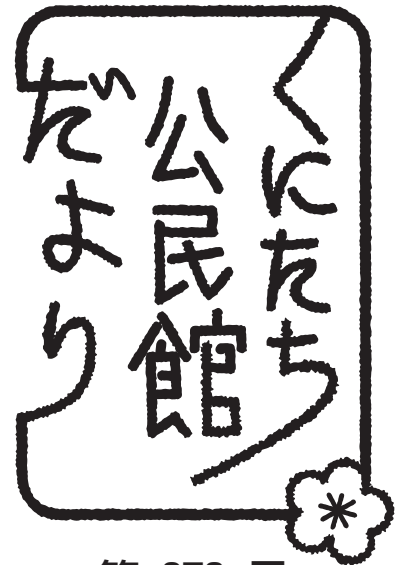


2015年 くにたち公民館は60周年を迎えました。

第670号 くにたち公民館だより 2015年(平成27年)12月5日



工作や昔ながらの日本のあそび・文化に親しんでみませんか。
素材の手触りを感じたり、舌で味わったり、歌を歌ったり、さまざまな体験が詰まったイベントです。スタンプラリーをしながら、冬の一日を公民館で過ごしてみませんか。講師になってくれるのは、目黒区市内で活動されている方々です。ぜひご参加ください。
◆対象 小学生(未就学児のお子さんが参加できるものも有)
※申し込みは不要です。ご自由にお越しください。
◆協力 公民館利用者連絡会



第670号

2015年12月5日
(平成27年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

小学生の
みんな、
あつまれ！

地域の人と、あそぶ・まなぶ・交流する

**冬休み直前
ふれあいひろば**

12月19日
(土)
朝10時
～昼3時

「にーだんご」

粉をこねてだんごにして、野菜をたくさん入れた「にーだんご」を作ります。煮ている間は、昔のくらしの様子をきいてみよう。(お話：佐伯安子)

じかん：朝11時～12時半

ところ：公民館 1階ロビー

講師：くにたちの暮らしを記録する会



ミニ・

クリスマスツリー

まつぼっくりに飾り付け、クリスマスツリーを作りましょう。できあがったら、お話会のはじまりはじまり。工作のじかん：朝10時～昼2時半

お話のじかん：①朝11時～

②昼1時～

ところ：公民館 1階ロビー

講師：まめっちょ



紙版画で 年賀状づくり

自分だけのオリジナルな年賀状を紙版画でつくってみよう！
※よごれてもいい服装で参加してください。

じかん：朝10時～昼2時半

ところ：公民館 3階集会室

講師：ぶれす・る



ロシア民謡 ミニコンサート

アコーディオンやロシアの弦楽器ドムラなどの演奏で、ロシア民謡を歌いましょう！(曲目：「トロイカ」、
「一週間」、「カリンカ」など)

じかん：昼2時半～3時

ところ：公民館 1階ロビー

講師：マトリョーシカの会



ニュースのまとめ

自分の今年一番のニュースと一緒に、イベント当日の様子の記事にまとめてみましょう。記者になったつもりで、カメラを片手に取材へGO！(カメラは公民館に用意してあります。)

※①、②いずれかにご参加ください。

じかん：①朝10時半～

②昼1時～

ところ：公民館 3階講座室

講師：公民館だより編集委員会



昔のあそび

「輪ゴムてっぽう」でマトあてをしたり、「コマ回し」や「けん玉」など昔の子どもたちが楽しんだ遊びをやってみよう！

じかん：朝10時～昼2時半

ところ：公民館 地下ホール

講師：国立市体育協会



くにたちカルタ

国立の名所などが絵札になった「くにたちカルタ」をやってみよう。自分たちの住まちを知るチャンスです！

じかん：朝10時～昼2時半

ところ：公民館 地下ホール

講師：国立市ボランティアセンター



「子どもの意見」パネル展

現在策定中の「第三次子ども総合計画」に寄せられた、子どもが考える「自分のことや将来のこと、国立市に望むこと」などを展示します。

じかん：朝10時～昼2時半

ところ：公民館 地下ホール

担当：国立市児童青少年課

(ユネスコ学習権宣言) 学習権とは、読み書きの権利であり、問い続け、深く考える権利であり、

60人の声

— 公民館60周年に寄せて① —

今回から、60周年にちなみ、60人の公民館に縁のある市民・関係者による、公民館へのメッセージ集を連載します。

文教都市くにたちの公民館

佐藤一夫(国立市長)

公民館の活動は、私の人生に大きな影響を与えました。昭和30年代、学問に接する機会も多くなかった私の母は、公民館が谷保地域で開催した読書会等に通うなかで多くのことを学び、そして「学び」の大切さを私に伝えました。それは、その後の人生において、私の基底となるものでした。現在の市政運営も「文教都市 くにたち」という大学で学び、育った私の「学びと実践」にほかなりません。これからも「学び」を軸に据えた「まちづくり」を実践してきたくにたちを次代に継承・発展させていく公民館活動に期待します。

「学習権とは」という宣言が、公民館だよりの定位置に毎号載る。とりわけ「自分自身の世界を読み取り、歴史を綴る権利」を私は求める。それに欠かせないのが、講座で知り合った人のまなざしと、職員からの問いかけと、図書室の講座資料群だ。

人が行き交う広場のような、それが私の公民館。

きつかけは、シルバー学習室

今村和義(公民館運営審議会委員)

お陰様で毎日がゆたかに回る。仲間が増えたせいだろうか。講座参加から、グループがグループを生み、この街に多くの知己を得た。定年退職とは戦艦の乗組員から手漕ぎボートに移ることだと誰かが言った。孤独と漂流は禁物、先ずは地域デビューだ。公民館だよりで見つけた「シルバー学習室」。

描画や調理や野外観察やら。あれから二年余、寄せるうねりに感嘆させられもして、我が手漕ぎボートは、ますます航行中だ。分相応の風に吹かれて。

学習権を保障する広場

荒井寿恵(公民館だより編集研究委員会委員)

流行するのは権威者の言葉。知らなかった、騙されたとは、加担の白状だ。信じやすいお姫様では駄目。だから公民館に、ほんやりした自分の常識を砕きに行く。

見逃した原石を探す

大井利雄(公民館運営審議会委員)

近くにあるのに公民館の存在は念頭になく、国立の駅舎と一橋大学しか認識せずに自宅と会社への通過点でしかなかった。

しかし数年前、ある講座への出席をきっかけに、過ぎた日に見逃した原石を探すかの如く、諸行事にのめり込むようになった。優れた講師による幅広い講座群、素晴らしい仲間にも出会った。半歩でも前に出ると見える世界が広がる。公民館に多くの人が関心をもち、来館者が増え、活動の場が広がることを期待する。

六十の年輪を持っていたら

大串隆吉(公民館運営審議会委員)

公民館が六十の年輪をもつ木の幹だったら何が聞こえるだろう。年輪は何かを言っているわけではないから、人によつて聞こえる声は違うに違いない。

駅に集まって別れを惜しむ人たちと蒸気機関車の煙と汽笛をきく人がいるだろう。その人は、青年学級に通っていたのだろう。

子どもの声をきく人がいるだろう。公民館図書室が保育室に。若い親の集まりに来ていた人かもしれない。公民館の年輪から人々の人生を聞けるかもしれない。

公民館を育てよう

長田利信(公民館利用者連絡会)

「公民館で人物クローッキーをやっているよ」の声に誘われ、訪れたのが20年前。以来ほぼ毎週「かよう会」でクローッキーを続けている。行き着く所は見えないが、感覚や思考を鍛えて自分を高めるよう、私の生きがいとなっている。

それができるのも、学習したい人は誰でも無料の公民館や、多くの人が利用できるように調整する公民館利用者連絡会の活動に人間的な温かさがあるからだ。みんなの活動がつながり合い、安心して生活できる地域社会になるようみなで公民館を育てよう。

ここから風が

兼松忠雄(城山さとのいえ)

公民館職員時代は、多くが午後に出勤、そして最終電車だった気がします。それでも、青年たちと何か事業を考えるのは楽しく、様々な職場を経験してみても、改めてそう思うのです。当時、障害者事業を担当したのも何かの縁ですが、「わいがや」や講座を担ってくれた青年、それを見守り、支えてくれたしょうがいしゃの親や市民の皆さんに改めて感謝いたします。

公民館がこれからも、今までも変わらず、平和や福祉の風が吹く場所であれ、と願います。

公民館であつた人々との縁

河津征二(KUNIBOKにたち)

地域外国人のための防災連絡会 私と公民館の出会いは日本語ボランティア講座に参加してから10年になる。2010年4月に、有志と始めたKUNIBOKは防災を核とした多文化共生社会を推進する任意団体。現在は公民館をはじめ市、大学、在住外国人に認知されるまでになってきた。また8年前だが、公民館で出会った人との縁で、中国で1年間日本語教師を資格もなく経験させてもらった。人との出会い、つながりの大切さを改めて感じている。

私と公民館図書室久保分室

神成力ネ(なすなの会)

昭和30年代久保分室で図書の貸出し係をしていました。毎月曜夜6〜9時の開室。電球一つで畳の部屋でした。その為気やすさがありました。夕食後の主婦の利用が多く、本を選ぶ事を楽しんでいました。その後世間話に花が咲き、笑いがとまらない程でした。この当時の分室の講座が今でも話題になります。「南部婦人教室」や「社会のうごきと女の生きがい」などを学習したことが老いて役立って

あらゆる教育の手だてを得る権利であり、個人的・集団的力量を発達させる権利である。

います。希望として、公民館分館を谷保地区にぜひ建ててほしいと願います。

公民館から第一歩！

高木裕子（非戦のまち）

くにたちの会

私が初めて公民館に足を踏み入れたのは、「非戦のまち」の学習会でした。それまで公民館の存在さえ知りませんでした。あれから11年、公民館で多くのことを学び、たくさんの方に出会い、私の世界は大きく広がりました。市民自治のまち、国立と共に歩んできた公民館。その誕生の原点である市民自らが学び、考え、発信する拠点であることを忘れることなく、70年、80年と歴史を刻んでいけるよう見守りたいと思っています。

多様な学びのネットワークを

田中えり子（『国立歩記』編集長、くにたち地域コソボ代表）

「自分に起きていることは、きつと社会の課題にもつながっている」。その視点をもって学べる場所が、公民館だと思います。大量の情報のなかで本当に役立つものに出会うため、自分を信頼するため、人とともに生きるために、学習はとても有効だともっとも

宣伝してもいい。そして、なんらかの理由で大切な学習の機会もてなかつた人にこそ、多様な学びのチャンスを提供するネットワークを、まち全体に広げてほしいと願っています。

「青年室」との出会い

丹野春香（公民館運営審議会委員）

私が国立市公民館に足を運ぶようになったのは、5年程前に社会教育主事資格取得のための実習で青年室活動を担当させていただいたことにはじまる。それまで関わりのなかった「公民館」で同世代の人びとが活動をしていることが驚きであり、みな放つ熱量に圧倒され一気に引き込まれた。青年の集まりゆえに流動性は高いが、誰かと共に何かを行うことを何よりも重視する姿勢と顔を出せばいつでも受け入れてくれる仲間の姿はこれからも変わらないだろう。

生活のことで哲学する場

唐木紀介（哲学読書会）

印象に残っている講師は、長谷川宏（ヘーゲル・宮本常一の自己意識を越え他者共同体意識へ）と国分功一郎（ドゥルーズ・無意識や構造から漏れる欲望人間）でした。参加者が生活のことで自由に発言するさわやかな哲学講座

でした。今後も継続を期待します。自主サークル「哲学読書会」は知識ゼロ、他者は各々異なる考えを持つことを前提に学びの場を開いています。何ものにも依存せず（情報・知識・権威）私個人の語る生活のことで哲学しています。

公民館よ！ 待っててネ

中島三恵子（文学講座）

実は今、私は冬眠中なのだ。我が家の事情で出掛けに行く事が出来にくくなっているからだ。しかし私は公民館を卒業したつもりはまったくなく、なぜならば公民館には落第も退学もないのであるからどんな生徒も受け入れてくれる、そして知らねばならない事を気付かせてくれる市民の学校と私は思っているのだ。ジミいな建物の中にシビれる中味が詰まっている。だから私にまた時間ができるまで「公民館よ、待っててネ！」と言いたい。



60周年記念シンポジウム

青年講座「和着楽茶会」 ～はじめての着物と茶の湯～

コーディネーター 林 順子、鵜養 慶太

2016年初春。着物の着付けと茶の湯を楽しく学んで、和のコト初めをしませんか？



着物と茶の湯について、形式張らず、現代のライフスタイルにも取り入れやすい方法をお伝えします。コーディネーターも始めて日の浅い修行中の身ですので、初めての方でもお気軽にご参加ください。

と き 1月21日（木）、28日（木） 昼1時～3時
ところ 公民館 3階和室
定 員 各回4名、21日か28日どちらかのみの参加。
対 象 高校生～30代まで ※男女とも募集しています。
申込先 12月12日（土）朝9時～
公民館 ☎（572）5141

しょうがいしゃ青年教室

陶芸講座作品展



陶芸講座の参加者が作った、コーヒーカップやトースト皿などを展示します。陶芸講座は、滝乃川学園の協力を得て5月から11月まで行いました。作品展終了後は公民館の喫茶「わいがや」で使われます。ぜひ、おいでください。

と き 12月8日（火） 昼2時～12日（土） 昼2時
ところ 公民館 1階市民交流ロビー

〈哲学講座〉

長谷川宏さんと読む『日本精神史』

講師 長谷川 宏 (哲学者)

ヘーゲルの翻訳や哲学研究で多くの著書を出している長谷川宏さんを講師に、今年度は長谷川さんの近著『日本精神史(上)』をテキストとして取り上げます。

長谷川さんは、ヘーゲル研究に取り組み、ここ20年は日本の文化と思想を研究され、日本人の精神を「人間が自然とともに生き、社会のなかに生きていく、その生きる力と生きるすがた」と定義づけました。縄文時代からの日本人の精神史を長谷川さんとともに学びましょう。

〈長谷川さんの著書〉

ヘーゲル『精神現象学』の翻訳でドイツ連邦政府翻訳賞受賞。『高校生のための哲学入門』(ちくま新書)、『ことばをめぐる哲学の冒険』(毎日新聞社)、『双書哲学塾 生活を哲学する』(岩波書店)、『ちいさな哲学』(春風社)ほか多数。



監督・脚本 木下恵介 音楽 木下忠司

出演 高峰秀子、仲代達矢、佐田啓二、乙羽信子、石原朗ほか

監督・木下恵介＝主演・高峰秀子という、戦後日本映画を代表する黄金コンビの絶頂期を示す力作。

自分を手籠めにして恋人との仲を引き裂いた憎い男と無理矢理結婚させられた女の、30年にわたる恨みと憎しみに満ちた半生を描く。夫をひたすら憎み続ける妻・高峰秀子と、妻に執着し続ける夫・仲代達矢の火花を散らすような情念と葛藤に満ちた演技合戦が見る者を圧倒する。全編を彩るフラメンコの情熱的なメロディーも心を締め付ける。

〈シネマトーク〉

「やさしさと激しさと

——木下恵介の映画たち」

お話・北里宇一郎 (脚本家)

上映終了後、劇映画やドキュメンタリー映画の脚本のみならず、映画関係の書籍の編集など幅広く活躍され、脚本を担当した最新作『ベトナムの風に吹かれて』(監督・大森一樹、主演・松坂慶子)も好評だった脚本家・北里宇一郎さんに、木下恵介監督の映画の魅力についてお話をうかがいます。

と き 12月20日(日) 昼2時～5時(開場昼1時)
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
※ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

※テキストの『日本精神史(上)』(講談社)をご用意ください。(公民館でも数量限定で販売予定)

と き 1月9日～2月6日(全5回)

毎週土曜日、昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(市内在住者優先。応募者多数の場合は抽選。原則全回出席できる方)

問合せ 公民館 ☎ (572) 5141

申込方法 往復はがきの往信裏に、氏名(フリガナ)・住所・電話番号を明記のうえ、下記までお申込みください(はがき1枚につき1人まで。記載漏れは無効とします)。※返信の宛名面にも住所・氏名を明記してください。

申込締切 12月19日(土) 消印有効

申込先 国立市公民館 哲学講座担当

〒186-0004 国立市中1-15-1

地域で日本語支援をしたい人のための

日本語教育入門

地域で日本語を教えてみたいと考えている方のための講座です。日本語を教える際に必要なことを、理論・実践の両方から学んでいきます。(全8回)

講座終了後に、日本語サポートボランティアに参加することもできます。

◆総論篇：1月7日(木)

～地域の日本語ボランティアの役割とは～

講師：林川 玲子

(東京日本語ボランティア・ネットワーク)

◆理論篇：1月14日、21日、28日(木)

～日本語教育のための文法事項や文型について～

講師：庵 功雄 (いおり) (一橋大学・日本語教育)

◆実践篇：2月4日、18日、25日、3月3日(木)

～地域日本語教室の現状理解と実践演習～

講師：志村 ゆかり (東京経済大学・日本語教育)

時 間 いずれも木曜日、夜7時～9時

定員 25名(先着順)

※全回参加できる方を優先します。

ところ 公民館 3階講座室

費用 テキスト代実費 ※2,000円程度

(『にほんごこれだけ! 1・2』ココ出版)

申込先 12月10日(木) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141

掲載写真募集中

「ひろば」に掲載する、国立のまちの風景や行事、自然などの写真を募集しています。毎月1、2枚掲載予定です。恐縮ですがお礼はお出しできません。

ご協力いただける方は、公民館までご連絡ください。

公民館 ☎ (572) 5141

ひろば

(6ページにもあります)

国立泉句会

五七五の俳句を自由に楽しく作りませんか。花の名前や漢字も自然とおぼえるようになります。初心者の方もお気軽にご参加下さい。見学無料・会費千円

日時 毎月第三日曜日 昼1時～
場所 福祉会館 3階
連絡先 田中 (577) 7018

クール・ブルミエ合唱団員募集

国立で活動始めて一〇年になる女声合唱団です。丁寧で細やかな指導で初心者も経験者も満足できます。楽しく歌って心も体もリフレッシュ！ぜひ見学に来て下さい。

日時 毎週月曜日 朝10時～12時
場所 さんせいホール地下他
連絡先 中村 (090) 7864

国立カラオケ愛好会 会員募集

キングレコード所属講師によるピアノとテープ指導で、毎月課題曲を楽しくレッスンしています。歌の好きな方、是非一緒に新曲等を歌いませんか！見学大歓迎。

日時 毎月第二、四火曜 昼1時～
場所 公民館 音楽室
連絡先 前田 (573) 4765

ソシアルダンス サンメイト

各地でパーティーが催されているこの頃。一緒にステップを覚えませんか。健康増進にも役立ちます。講師は経験豊かなモダンA級の女性。まずは見学からどうぞ。

日時 月3回 月曜 3時～4時半
場所 総合体育館 3階
連絡先 寺島 (575) 7046

「谷保太極拳同好会」会員募集

太極拳に興味はあるけれど、私にできるかしら？と悩む前に是非体験を！初めてでも無理なく続けられる氣功体操を中心に体の中心から健康になりませんか？

日時 毎週火曜日 朝10時～12時
場所 矢川集会所
連絡先 長谷川 (090) 7254

卓球水曜会 会員募集

卓球を通じて生き生き生活しませんか。隔週で講師の指導を受けられます。

日時 毎週水曜日 昼3時～5時
場所 総合体育館 3階
連絡先 佐伯 (523) 0092

はんなりの会 (会員募集)

京都の好きな方！いらつしやい！お茶でも飲みながらおしゃべりしませんか？本会は、皆さんと京都の楽しみ方、京歩き、京都検定などを語り合い交流を深めます。

日時 毎月第三土曜日 昼1時半
場所 公民館または市内某所
連絡先 猪原 (080) 7983

マトリョーシカの会コンサート

ゲストは歌手のエカテリーナさんです。ゲスト演奏の他にも参加者全員でロシアの歌やロシア語の「花は咲く」を歌います。カナ付きの楽譜あり。資料代500円。

日時 12月6日(日) 昼3時～4時半
場所 公民館 地下ホール
連絡先 大貫 (572) 5214

〈図書室のつどい〉

誰が星の王子さまを殺したのか —モラル・ハラスメントの罠—

講師 安富 歩 (東京大学)

ひとりの飛行士が、小さな惑星から来た王子と砂漠で出会い、話をしていくなかで絆を深めていく物語。サン＝テグジュペリの代表作『星の王子さま』。しかし安富さんは著書のなかで、『星の王子さま』に登場する小さな惑星に咲く一輪のバラと王子の関係は、バラによる「モラル・ハラスメント」であり、キツネによるセカンド・ハラスメントで王子は自殺に追い込まれる、と述べています。子どもから大人までよく読まれているこの物語を、今回はこのような視点から読解します。

〈安富さんの本〉『誰が星の王子さまを殺したのか—モラル・ハラスメントの罠』(明石書店)、『生きるための論語』(ちくま新書) ほか

と き 1月13日(水) 夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(当日先着順)

※ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

※講座の様子は後日インターネット配信される予定です。

〈くにたちブッククラブ 記憶をたどり歴史を問う〉

有吉佐和子『香華』

(新潮文庫)

講師 小平 麻衣子 (日本大学)

と き 12月10日(木) 夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

※通常より30分早く始まります。

公民館運営審議会報告

11月10日(火) 第30期第13回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名が出席。傍聴2名。

報告事項

- 事務事業評価委員会に、「公民館だより」に係る意見書を提出し、市民の学習活動に欠かせない価値を伝えた。委員からは、すべての市民に情報が届く工夫を促す一方、内容には高い評価を得た。
- 公民館だより編集研究委員会 市民文化祭記事は積み重ねと時代に対応する挑戦を示して力強い。ピースリーディングなど優れた企画を評価したい。
- 社会教育委員の会

第7回定例会を開催。生涯学習振興・推進計画に係る諮問について、国立市公民館の社会教育活動が何を大事にしてきたかを、前期公運審の答申をもとに報告。

○ 東京都公民館連絡協議会 第1回研修会の振り返りと次回研修内容の検討。

○ その他 公民館職員の人事に係る要望書を提出することに決定。

議事

○ 諮問「国立市公民館の事業評価のあり方」について 先行事例や参考文献を選定し、各委員の学習結果を次回持ち寄る。事業評価とは何か、全員が共通理解を持つことに努める。

次回は12月8日(火) 午後7時15分から。傍聴歓迎。(三好)

今月の公民館 (12月、1月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 8日(火) 朝*陶芸講座展示
- 10日(木) 夜 くにたちブッククラブ
有吉佐和子『香華』
- 19日(土) *冬休み直前ふれあいひろば
- 20日(日) 昼* CINEVOX公民館シネマトーク
『永遠の人』
- 1月7日(木) 夜~日本語教育入門
- 9日(土) 昼~長谷川宏さんと読む
『日本精神史』
- 13日(水) 夜*図書室のつどい
「誰が星の王子様を殺したのか」
—モラル・ハラスメントの罠—
- 21日(木) 昼 青年講座「和着楽茶会」
~はじめての着物と茶の湯~

撮影

末永皓さん(富士見台)
くにたち深雪



ひろば

(5ページにもあります)

定住・永住外国人住民の自立会

外国人による外国人住民の社会生活・自立と出番づくりをしていきたい方、ぜひご連絡ください。

先ばい外国人と生活のノウハウや子育て、起業、地域貢献を話す。

日時 12月11日(金) 昼2時~4時

場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 ムン090(910) 5810

加害者としての戦争を語る会

「安保法制」下で、私たちは新たな「加害者」にさせられてしまふのか? 日本AALA連帯委員会常任理事でアフリカなど国際関係史研究者の高林敏之さんに聴く。

日時 12月12日(土) 昼1時半~

場所 公民館 講座室
連絡先 上村090(181) 8371

第206回くいしんぼクラブ ニュージールランド料理

呉さん、ギルバートさんご夫妻に家庭料理を習いましょう。材料費800円。ふきんとゴミ袋をご持参下さい。

日時 12月19日(土) 昼1時~

場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

第43回元旦マラソンお知らせ

10km一般男女・高校男子、5km中学男子、3km40歳以上男子・一般女子・中学女子・小学生(親同伴)。参加費は当日徴収。スタートは、朝10時。

日時 1月1日(祝) 朝9時集合

場所 多摩川河川敷グランド
連絡先 北島(572) 8311

公民館で Wi-Fi が使えます

利用者の利便性向上を目的として、インターネットが利用できる無料公衆無線LANサービスの提供を開始しました。日頃の学習活動等でご活用ください。

〈サークル訪問209〉 くにたち青空

ハーモニカクラブ

クラブ旗も掲げられた和室は音楽室のよう。男性4人、女性6人が、和田紀子さんの指導のもと、合奏開始。

老人ホームで演奏する今月の曲、「里の秋」「村まつり」など秋の歌のメドレー、昭和の情緒たっぷりの「波浮の港」「港町ブルース」等が続く。聞けば自然と歌詞が口をついてでくる。

年に一回の演奏会が11月にあるので、練習にも熱がこもる。「クワイ河マーチ」「雨の御堂筋」では乗りに乗って、足の先がリズムを刻み、膝もスイングする。ベンチャーズ世代の面目躍如だ。和田さんから「早いのは良いが、乱暴なのはいけない」と注意が入る。

ここで使うのは21穴の複音ハーモニカ。上下二段同じ音で同時に鳴らすと哀愁を帯びた音になる。ハーモニカセットは数本。長調、短調など曲に合わせて変える。これに伴奏用の大きなコードハーモニカ、バスハーモニカが加わる。楽譜は数字譜。ドレミファソラシは数字の1234567になる。音の高低や長さは数字に符号が付くことで表す。ハーモニカは戦前



まるで、オーケストラ



から愛用され、戦後もいち早く新作の歌が数字譜の本で出版され、今も静かなブームを呼んでいる。サークル名の由来は、8年前の一芸講座終了後、青空の下で練習していた人たちが集まったからだからか。

長時間吹いても息は上がらず、趣味も複数持つ方々だ。代表の高地彰さんから「健康にも良いです。新人は吹けるところから始めます。個人レッスンもしています。どうぞご参加を」とのこと。

日時・場所 金曜日朝9時~正午
・富士見台地域防災センター
連絡先 高地(577) 7780
〈写真・文 荒井寿恵〉